野沢温泉村幼保小中一貫教育・高校連携教育　　令和６年３月１４日（通算 204 号）

山毛欅（ぶな）の子　野沢温泉学園だより第11号

～子どもたちが、ブナ（村木）の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め～

11 年目の野沢温泉学園のまとめ

野沢温泉学園は村の切実な願いを背景に平成 25 年４月１日に開園しました。11 年目の今年度はこれまでの研究や運営の成果と課題をもとに新しい 10 年のスタートと位置づけ、実践を通してより充実させていくことをめざして学園の活動を進めてきました。また、改めて開園当初の願いや教育活動を振り返り、村の未来を担う人材育成をめざし、全職員でがんばって学園教育目標の具現を図ってきました。

１　野沢温泉学園の教育目標

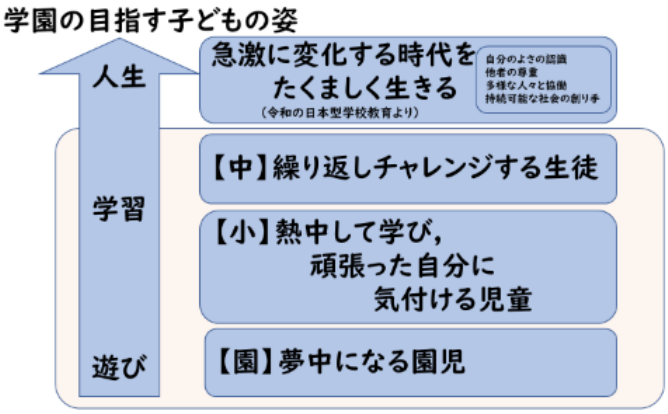
村の未来を担う人材育成を目指して

～ふるさと野沢温泉村を心に刻み 心を世界に拓き 心豊かな人間性をはぐくむ教育～

２　教育活動の柱

教師と子どもがともに学び合い、
育ち合う学園づくり

（１）豊かな国際感覚を育む英語学習
（２）スキーの楽しさを味わうスキー科の学習
（３）郷土愛を育むふるさと学習
（４）夢や視野を広げる交流体験学習
（５）ジョイント期を大切にした切れ目のない指導の充実
（６）地域高校との連携教育



３　野沢温泉学園授業研究会「夢中 熱中 繰り返しチャレンジ」

(1) 研究テーマ

こども園　さまざまな遊びを経験する事で子どもたちが夢中になり表現して楽しむ
～感性豊かな人間性を育む～

小学校　熱中して学び、共に考えを深め合い、自分の成長を実感できる子ども
～ICT の効果的な活用を探る～

中学校　友と学び合いながら自分の考えを深め・伝え合う授業づくり
～「繰り返しチャレンジする姿」を求めて～

上記のような研究テーマを設定し授業研究に取り組んできました。春の学園授業研究会では、中学校の国語「俳句」の共同参観授業を行いました。秋の学園授業研究会では園小中で英語の授業公開を行いました。学園の英語学習の系統性を、実践を通して参観者に伝えることができました。英語の共同参観は小学校６年「PR 野沢温泉-野沢温泉の魅力を世界へ-」の授業を行い、子どもの追究のすばらしい姿が見られました。

(2) 模擬授業を行って考える授業づくり

東京学芸大学准教授 渡辺貴裕先生に指導を受けて３年目。学習する子どもの視点を授業づくりや授業改善につなげていくために、学園職員みんなで授業の児童生徒役になって模擬授業を行ってきました。学習者の視点で体験するから分かる学習者と教師の視点のズレに気づき、対話型模擬授業検討会（学びをつなぐ会）で具体的な改善方法を話し合ってきました。学びをつなぐ会で自分の授業のあり方に気づ

き、学習する子どもの視点に立った授業づくりを意識して進めています。実際の研究授業では職員が子どもの視点で授業を参観することができ、学びをつなぐ会で子どもの具体の姿から語り合ってきました。

４　ふるさと学習　交流体験学習　　今年度も充実した学習活動が行われました。

５　野沢温泉学園地域支援センター

今年度も学校支援ボランティアの方々に大変お世話になりました。村教委のコーディネーターに交流や地域の「ひと、もの、こと」とのつながりを推進していただきました。読み聞かせボランティアやクラブ活動「のざわの時間」でも継続してお世話になりました。これからも地域の方と共に学ぶ活動を充実させていきたいと思います。

「のざわの時間」講師のみなさん

６　令和６年度に向けて

めざす子どもの姿の具現化を目指して、自身の授業・保育や仲間の授業・保育からの気付きを職員間で共有し、学園職員としてどのように取り組むか考えて実践していきます。みんなで語り合い野沢温泉村の未来を担う人材を育んでいきたいと思います。来年度のキーワードは「夢中　熱中　繰り返しチャレンジ」「教職員の学び合いの充実」です。　　（野沢温泉小　市村）